

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|---------------|--------|---------------|
| ○事業所名 | ラソン | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和 7年 12月 9日 | ～ | 令和 7年 12月 26日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) 4 | (回答者数) | 1 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和 7年 12月 20日 | ～ | 令和 8年 1月 7日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) 2 | (回答者数) | 2 |
| ○訪問先施設評価実施期間 | 令和 7年 12月 9日 | ～ | 令和 7年 12月 26日 |
| ○訪問先施設評価有効回答数 | (対象者数) 1 | (回答者数) | 1 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和 8年 2月 9日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|--|
| 1 | ・訪問先の担任の先生が日々の生活の中で実践しやすい、スムーズステップの工夫を一緒に見つけることを大切にしています。学校との密接な連携を通じて、お子さまと先生の双方が安心して過ごせる環境づくりのサポートに努めています。 | ・児童指導員、保育士、公認心理師、言語聴覚士等の多職種が連携し、専門的知見を活かした支援を検討しております。事前の学内(事業所内)会議では、お子さまの実態と訪問先の環境を丁寧に照らし合わせ、現場の状況に即した実効性の高い提案を目指しております。 | ・訪問先の先生方にとって教育の充実や問題解決につなげられるよう、引き続き多職種で連携を図り、助言等ができるよう努めています。 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|---|
| 1 | ・多職種による専門的な知見を有していますが、職員間で経験値や専門知識に差があることが課題です。今後は事例検討会や内部研修をさらに充実させ、どの職員が訪問しても一定以上の高い質で具体的な提案ができるよう、チーム全体のボトムアップを図る必要があります。 | ・訪問先となる学校や保育所等の環境は多岐にわたり、それぞれの集団の特性や活動内容に応じた柔軟な対応が求められます。個別のケースに対し、その場の状況を瞬時にアセスメントし、環境調整や具体的な関わり方を即興的に判断するには、知識の習得だけでなく一定の現場経験の蓄積が必要となること、職員間での対応力の差が生じている主な要因と考えています。 | ・質の高い支援を継続的に提供できるよう、訪問前後の検討会議を一層充実させ、助言の根拠や支援のポイントをチーム全体で共有する仕組みづくりを推進してまいります。 ・職員同士の相互同行や実地でのフィードバックを積極的に行い、共に学び合える環境を整えていきます。チーム一丸となって経験を分かち合い、専門性を高めることで、どの職員が訪問しても「相談してよかった」と安心していただける支援体制の構築を目指してまいります。 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |